

0.38mm/1.25fr

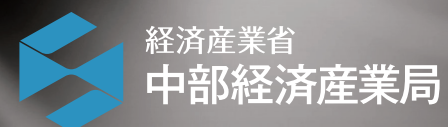
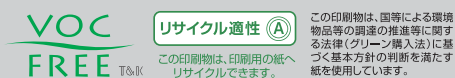
THE *Making of* METI



新規職員採用案内 2024



中部経済産業局職員採用



紡ぐ、繋ぐ “ものがたり”

地域の力を未来に繋ぐ

国家公務員はどんな仕事をするのだろう。中部経済産業局はどこだろう。

これまで培った経験を生かせる仕事に就きたい――

就職活動にあたり、皆さんはそんな大きな期待や不安を抱いていると思います。

皆さんの公務員のイメージはどういったものでしょうか。

決められた仕事をきちんとこなす固いイメージでしょうか。

もちろん割り振られた仕事を期限までに的確に仕上げることはとても重要です。

その上で、私たちが皆さんにお伝えしたいのは、仕事を通じて自らの思いを“かたち”にしていくことの面白さです。

少子・高齢化の進展、世界情勢の不安定化、気候変動の深刻化・・・私たちを取り巻く経済社会はまさに激動の時代にあります。

中部経済産業局は、こうした変化にしなやかに力強く対応し、中部地域の変化・ニーズを先取りしながら、

地域の持続可能な発展に向けて共に挑戦する人材を求めています。

この冊子では、中部経済産業局の職員がこれまで紡ぎ、繋いできた挑戦の“ものがたり”をご紹介します。

「地域の力を未来に繋ぐ」

私たちとともに中部地域の未来に向けて挑戦していける日を楽しみにしています。

中部経済産業局長

Philosophy

組織理念

私たち中部経済産業局は、

時代の変化を先取りし、地域の施策展開をデザインして、

いち早く発信・実行することで、

変化に挑戦し続ける地域経済・産業の持続的な発展に貢献し、

真に地域から信頼され期待に応えうる組織を目指します。

自由闊達

自由闊達な議論を通じてアイデアを生み出し、
工夫が生まれるなど業務力向上を目指す

挑戦しやり抜く力

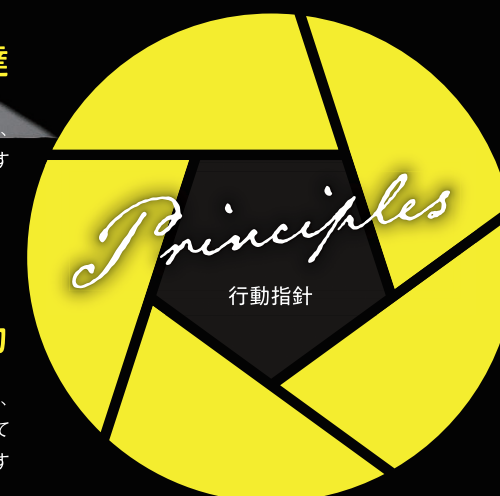
失敗を恐れずに挑戦しやり抜くことで、
個人・組織双方において
ベストパフォーマンスが発揮される環境作りを目指す

現場主義

地域経済の更なる発展のため、現場主義を貫きつつ、
真に必要とされる施策を投入する

地域の要役

地域関係者をリスペクトしつつ、
その力を結集できるよう
地域の要役として活動することを目指す



多彩な智で化学反応

個人の考え方を尊重し、相互理解を促し、
それを活用できるチーム力をつけることにより、
多彩な智で化学反応を起こす

創造せよ。新たな価値を



99.7% —— 知っていますか？ この数字が示すもの。

「99.7%」 日本の企業数のうち中小企業の占める割合です。企業数にして約359万社が中小企業であり、従業員数については、日本全体の約7割が中小企業から生み出されています。このことから、中小企業は地域経済や雇用を支えている重要な存在と言えます。

そのような中小企業においては、ポストコロナや物価高など急激な事業環境変化に加えて、GX・DXなど成長分野への対応、事業承継・事業再構築など様々な課題への対応が必要になりますが、とりわけ、私が所属する経営支援課では、中小企業による新商品開発や販路開拓など新分野展開への挑戦の後押しや、グローバルな需要の獲得に向けた海外展開への支援に取り組んでいます。

いずれの仕事にも共通することは、まずは徹底して現場に出向き、現場の声を聞く「現場主義」です。中小企業の経営者から、自社を取り巻く環境やトピックス、さらには、求められる支援ニーズなどを膝詰めで議論することを大切にしています。その上で、それらの現場の生声やニーズを掘りどころにして、将来像を描くとともに、課題を顕在化させ、その課題の解決に向けた仮説をバックキャストで組み立て、政策の立案と実践につなげていきます。中部地域の経済をより良くするために、時代に応じて求められる政策を創造することは、難しさもありますが、これこそが、他の官庁にはない中部経済産業局における仕事の醍醐味であると思っています。

中部地域の食品の海外販路開拓や プロモーション推進のためアメリカへ

2023年3月には中部地域の食品の販路開拓やプロモーション推進のためにアメリカに出張し、現地のバイヤーへの商品提案や、日系企業のカフェテリアでの「中部フェア (Central Japan Food Fair)」開催に向けた交渉を行ってきました。ヒト・モノ・カネなど経営資源が限られた中小企業にとって単体での海外展開は容易ではないことから、中部経済産業局が結束点となり、海外展開に意欲的な企業のニーズをもとに海外プロモーションを実現しました。県や市町村という行政区域を越えて、中部地域という広域性のもとで、多様なラインナップの商品をバイヤー等に紹介することができたことと、国家公務員 (政府職員 / government official) という立場から「Central Japan」と銘打つことができたのは、中部経済産業局の職員であったからこそ成し遂げることができたと感じています。

「自由闊達」なMETIの風土があるからこそ生まれた プロジェクト、若手職員のアイデアがきっかけでした。

販路開拓支援の仕事としては、2022年12月に国道19号沿線 (愛知県・岐阜県) の優れた地域資源や地域産品を集めたマルシェ (ROUTE19マルシェ) を地域初のイベントとして開催しました。始まりは、当課の若手職員から

の「“D2C (Direct To Consumer)” のように作り手であるメーカーが消費者と直接接点を持てる消費喚起イベントを企画したい」というアイデアでした。まさに「自由闊達」なMETIの風土があるからこそ生まれたROUTE19マルシェであったと言えます。若手職員も交えてマルシェの構想を練り上げ、参加者募集、広報、当日運営までチーム一丸となり取り組みました。まさに、「行動力」を発揮させて「0から1を生み出す」ことができたこと、さらに、参加者や来場者から「素敵なマルシェに参加して良かったです。ありがとうございました。」とお褒めの言葉をいただいたことは、大きなやりがいを実感できた瞬間でした。

「One Chubu」となり 中部経済の未来に向けて協働する牽引役として

変動性と不確実性が増大し、未来の予測が難しくなるこれからの時代は、ローカルからグローバルまで求められる政策は複雑で多様になると考えられます。ただ、社会課題があるからこそ、ニーズは必ず内在しており、そこに政策資源を集中投入するという中部経済産業局が担う役割こそがより重要になります。その意味でも、「中部地域の経済・社会をより豊かにして、未来の世代に繋ぎたい」という情熱・使命感を職員同士のみならず、地域のステークホルダーとともに共有し、「One Chubu」となり協働することが一層必要になると思います。



【私のこだわり】
スケジュール管理だけでなく、業務の優先順位の見える化や、ふと閃いたアイデアのメモのために紙の手帳を愛用しています。



産業部経営支援課
課長補佐 / 事務系

田中 理央

【おもなキャリアパス】 産業部中小企業課 / 地域経済部産業技術課 / 産業部製造産業課 / 総務企画部総務課



“しなやかに挑む” 力強く



“挑む” 皆さんは今何かに本気で取り組んでいますか？

私にとって中部経済産業局は職員個人が様々なことに挑戦できる職場です。これまでの振り返ると、自分自身が関心をもっていた分野について、または、配属された業務について自分なりに前向きに取り組む、自分なりに挑戦をする、それを職場が応援してくれたことで、得られた経験が積み重なり、その延長線上に今の自分がいると感じます。

国際・海外分野の探求。 興味から業務経験を通じて自身の強みとなり、 そして専門分野へ。

就職するときから、国際・海外分野への関心がありましたが、就職して3〜4年目で経済産業省の安全保障貿易管理の業務に携わる機会を得ました。そこでは、仕事の一つとして、国際的な安全を脅かす出来事があれば、国連の安全保障理事会での決議に基づき、その出来事を発生させた国を「外国為替及び外国貿易法」の枠組みを活用し、貿易等を制限するという業務経験をしました。日本が世界秩序を守る国際社会の一員であり、ダイナミックに動く国際情勢を身近に感じた経験でした。

中部経済産業局へ戻った後、数年して、アメリカの大学へ約1年間派遣される貴重な機会を得ました。アメリカの中西部シカゴから車で2時間ほど北上したミシガン湖西岸の町、MilwaukeeにあるMarquette大学への留学でした。学生の勉強への姿勢や、企業の大学への期待などについて、日本とアメリカの状況の違いなどを肌で感じました。その後、経済産業省にて2005年愛・地球博の海外出展国支援を担当するなど、学生時代から関心のあった国際・海外分野の業務を数多く経験させてもらいました。

レジリエンス(災害等からの復旧力)との 新しい出会い。 挑戦することで広がるビジョン。

そして、私自身の大きなターニングポイントになったのは、レジリエンス(災害等からの復旧力)に関する業務との出会いです。2016年に配属された地域振興課で、南海トラフ地震などに備えて、製造業を中心とした地域企業の災害への対応力を高めようという業務を担当しました。

そしてその後、2018年から3年間、名古屋工業大学で、日タイの国際研究プロジェクトのプロジェクトマネジメント業務に従事しました。日本は災害大国で、日本の災害対応のノウハウや枠組みをタイへ導入し、産業や地域社会のレジリエンスを向上しようというプロジェクトです。

以前から自分のテーマであった国際・海外というテーマに、職務経験を通じて出会ったレジリエンスというテーマが今の私の軸足であり、今後も深掘りを進めて行きたいテーマとなっています。現在は総務課にて災害対策業務に従事しています。

2回の育児休業、 プライベートの充実が仕事への原動力に。 “働き方を選ぶ”ということ。

一方で、2009年と2012年に産休・育休をそれぞれ1年以上取得しました。休業中や復帰直後は、職場の理解と協力で育児と仕事のバランスを追求することを優先しながら、少し落ち着いてきたら、家族の理解と協力を支えに、大学でのプロジェクトマネジメント業務への従事など、少しずつ活動を増やしてきました。

これから中部経済産業局に参加される皆さんにも、業務を通じて、様々な経験を積み、その時々に応じた挑戦や成長を目指してもらえないのではないかと思います。



【私のこだわり】
仕事やプライベートで、平常心でいたいとき(人前で話すときや迷ったとき)、自分を励ましたいときのアイテムとして、アロマオイルを日常生活に取り入れています。



総務企画部総務課
災害対策専門官／事務系

伊野 恵理

【おもなキャリアパス】 地域経済部国際課／地域経済部地域振興課／
地域経済部次世代産業課新事業支援室／Marquette University留学／
名古屋工業大学高度防災工学センター(特任准教授)



About Career path

VOICE of

8

SENIORS

伝えたい思い ― 今、職員が語る私たちの“かたち”

THE
Making of
METI



周りのサポートを得ながら、
自分らしく成長できる場所。

入省後は、エネルギー政策や人材政策等に携わるとともに本省出向も経験してきました。直近では、人類共通の課題といえる気候変動問題の解決に向けて、水素・アンモニア等の新たなエネルギー源や企業のカーボンニュートラル対応など、エネルギーの製造から使用に至るまでの様々な業務を行っています。業務遂行にあたってはもちろん専門的な知識も必要になりますが、最も重要なのは物事を説明する力だと感じています。説明の相手は誰になるのか、相手の関心などを考慮し、情報を取捨選択しながら順序立てて説明することは、どんな業務であっても必要不可欠です。明確な正解がないからこそ難しいことですが、先輩職員や時には後輩職員からも指導・助言を得ながら試行錯誤することで、少しずつ力が身についてきたと実感しています。今後は経済産業省の施策を推進するための企画立案や業務提案にもチャレンジし、スキルアップを目指したいと考えています。様々なステークホルダーと協働しながら中部地域の発展に寄与する仕事ができるだけでなく、個人としても成長できる環境であることが中部経済産業局の良さだと思っています。

資源エネルギー環境部カーボンニュートラル推進室
係員／事務系

坂野 佑真 ▶

【おもなキャリアパス】 資源エネルギー環境部エネルギー対策課／
地域経済部地域人材政策室／資源エネルギー庁ガス市場整備室



“お客様”と共に歩み、ともに成長していく。

社会貢献、知識・スキル獲得、充実した研修・教育、ワークライフバランスなど。仕事を選ぶ上で重要です。健康福祉関連ビジネスに挑戦したい企業、海外から航空機のエンジン部品を受注したい中小企業、新事業展開したい自動車部品企業、ベトナムの環境問題解決に貢献したい中小企業。私がこれまで共に仕事をさせていただいた“お客様”の一例です。お客様のチャレンジに貢献するため、自分もいつも挑戦！人生で最も長い時間を過ごす仕事へのモチベーションは私のトッププライオリティです。お客様と共に目標を達成した瞬間は至福ですよ。お客様とのやりとりはもとより、先輩後輩・上司部下との仕事、日本全体での産業政策に従事した2度の本省出向、語学力に磨きをかけた英国留学が私の成長の源です。採用から20年目。現在は地方自治体への出向を通じて、新たに「管理職としての経験」と「医師、看護師、介護士やスタートアップと連携し、医療介護の現場課題を解決する」2つの成長機会を得ました。世界有数のものづくり集積地である中部地域、更には日本、世界をフィールドに企業・経済成長への貢献と自己成長を感じられる中部経済産業局での仕事を、自信をもっておすすめします！

大府市（商工業ウェルネスバレー推進課担当課長）／出向先
事務系

戸田 稔彦 ▶

【おもなキャリアパス】 地域経済部次世代産業課／
資源エネルギー環境部環境・リサイクル課／地域経済部国際課／
製造産業局航空機部品・素材産業室（本省）

地域とのふれあいを大切にしながらまちづくり、
フィールドに囚われない柔軟な支援を提供します。

私は現在、2025年の大阪・関西万博を契機として、他課室、他省庁や自治体と連携しながら、先端産業から伝統工芸まで多彩なもののづくり産業が集積する中部地域において、新たな観光コンテンツの磨き上げなど観光を起点とした地域産業の活性化に繋がる取り組みを行っています。その中でも特に商業振興に関する業務に携わっています。商店街やまちづくりに携わる企業を訪れる機会も多く、店主さんの熱い想いに触れたり、キーパーソンの方の先進的な取り組みを学んだり、刺激的な毎日を送っています。1年目は国際課で貿易管理業務を担当しており、いわゆる「規制」側でしたが、2年目以降現在は「振興」という目線で仕事をしています。異なる立場を経験することで新たな気づきを得ることができ、学びに繋がっています。中部経済産業局は地域との距離が近い、地域に根ざした幅広い業務に携わることができるのが魅力と感じています。また、自治体や県の垣根を越えた取り組みができるのは、国の機関である中部経済産業局ならではの。「自らの足で稼ぐんだ！」という意気込みのある方、お待ちしております！

産業部流通・サービス産業課商業振興室
係員／事務系

藤井 優佳 ▶

【おもなキャリアパス】 地域経済部国際課



充実した福利厚生制度と新しい職場環境が
オフィスライフをより快適にします。

これまで勤務地を名古屋、東京、富山と変えながら、再生可能エネルギーの普及促進に関する法律・税制等の制度設計、北陸のカーボンニュートラルの推進に資する施策の企画立案、総務課・会計課でのバックオフィス業務などを担当してきました。私に限らず、担当業務や勤務地が幾度となく変わることはあるのですが、充実したワークライフバランスがこうした働き方を支えています。私は第2子誕生時に3ヶ月間の育児休業を取得しました。職場側の充実したサポートもあり育児に集中できたため、産褥期の妻を支える大切さや家事育児の負担を分かち合う重要性に気づくとともに、日々の働き方の見直しや改善にもつながっています。中部経済産業局は令和7年度内に新庁舎へ移転予定です。「職場」を選ぶに当たっては、福利厚生制度に加え、働く環境も重要です。現在、私が所属する会計課ではオフィス改革に力を入れています。新庁舎を見据えて、机、椅子の入れ替えだけでなく、フリーアドレス制の導入など、新たなオフィスへの移転に先行して働く環境の整備に取り組んでいます。こうした取組は新しい職場に反映され、10年20年先の未来の働き方にも繋がっていくことになります。これから生まれ変わる新しい職場で皆さんも一緒に働きませんか。

総務企画部会計課
係長／事務系

松田 高彰 ▶

【おもなキャリアパス】 資源エネルギー環境部エネルギー対策課／
資源エネルギー庁新エネルギー課／電力・ガス事業北陸支局地域経済課／
電力・ガス事業北陸支局北陸経済企画調査室





技術系だからこそ分かる研究開発に対する熱い思い、
しっかり受け止め支援に繋がります。

入省2年目で、産学官連携推進室(2023年からイノベーション推進室に改称)にて、大学や企業が連携して共同研究や新事業展開に繋げるためのプロジェクトに携わりました。イベント開催のための関係者との調整から始まり、特設サイトでイベント情報や経済産業省の支援策の情報を提供する広報活動など、多方面からイベントの企画・運営を行いました。このプロジェクトを通じて様々な分野の専門家とお話しをする機会がありましたが、大学時代の研究室での経験があったからこそ、試行錯誤を重ねる大変さに共感し、技術の面白さや研究開発に対する熱い思いを理解することができました。また、研究開発に関する補助金の執行業務にも携わりました。大学ではバイオ・生命科学を学んでいたため、特に担当したバイオ関連の研究開発プロジェクトでは、大学で学んだ知識が活かされ、関係者との距離をグッと縮めることができました。相手に寄り添った深い話ができ、より一層の信頼関係を築くことができるのは技術系公務員の強みだと感じています。

中部地域は特に製造業が盛なことから、ものづくりに熱心な事業者、研究者の方々と直接関わり、様々な技術に触れることができます。自分の知見を活かしつつ幅広い仕事に挑戦できるのも中部経済産業局の魅力のひとつです。“地域の力を未来に繋ぐ”ために一緒に取り組んでいきましょう!

資源エネルギー環境部電力・ガス事業課
係員／技術系

坂 美穂

[おもなキャリアパス] 地域経済部産業技術革新課イノベーション推進室

ローカル×グローバル。ミクロ×マクロ。
Two-Way Player(二刀流)として新たな地平を切り開く。

「世界との差を痛感しました」…どこかの若手アスリートの言葉のようですが、これは私自身が若い頃、痛切に感じたことです。海外志向が強く言語能力にも自信があったので、本省出向時には「通商」という分野に飛び込みました。周囲のレベルの高さに何度も跳ね返されながらも、TPP、WTO、OECD、G20 …と数多の国際交渉に参画して世界と戦い、そして成功を得られた経験は仕事人生の大きな誇りです。(体感としては10年くらいやっていたような密度の濃い時間でしたね(笑)) 加えて、留学の機会も得ることができ、言語能力や思考能力など「世界水準」のトレーニングを重ねて大きくレベルアップすることができました。一方、中部経済産業局では「企業支援」を中心に経験を重ねてきました。「産学・企業間連携」「知財」「医療機器」etc…キーワードだけ挙げても実に多様。千差万別の企業、経営者と接し、課題解決や成長軌道へのサポートを行う…経済産業局でしかできない仕事ですね。ローカルとグローバル、ミクロとマクロ。この対極にあるフィールドを追求している人はあまりいないと思います。学生時代に初めて受けたTOEICは確か450点くらい、その他も至って普通の学生だった自分が、こんな道を歩むとは当人ですら予想外。努力と熱量があればどんな分野にも可能性を広げていける、それがこの職場の魅力だと思っています。

資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課
係長／事務系

早水 隆

[おもなキャリアパス] 地域経済部ヘルスケア産業室／通商政策局通商機構部(本省)
／School of Global Policy and Strategy, UC San Diego留学



About Career path

VOICE of

8

SENIORS

伝えたい思い — 今、職員が語る私たちの“かたち”

THE
Making of
METI

「どのような社会を実現したいか、
そのために自分に今できることは何か」を問う。それは、
変わらず持ち続けたいと思っている私の「軸」です。

「環境」や「資源」というキーワードからどのような社会を想像しますか? 製造業に強みを持つ中部地域は、変化する社会にどのように対応していくべきなのでしょう? 私が以前に所属していた環境・リサイクル課(2023年から環境・資源循環経済課に改称)では、「製造業だけでなく、高いリサイクル技術を有する企業も立地する中部地域はサーキュラーエコノミー(循環経済)実現のポテンシャルが高いのではないか」という仮説をベースとして、環境と成長の好循環を創出するための業務に取り組みました。官民の勉強会に参加した際には、自分に今できること(やるべきこと)を客観視する機会にも恵まれました。中部経済産業局だけでできることには限界がありますが、民間企業等との連携を通じてより大きな効果を生み出す可能性を見出すことができました。廃棄物ではなく資源としてとらえ、中部地域で循環させられる社会の実現に向けて、自分にできることを積み上げた経験は自身の成長にも繋がったと感じています。

総務企画部総務課
係長／事務系

名畑 拓真

[おもなキャリアパス] 産業部消費経済課／通商政策局アジア大洋州課(本省)／
地域経済部地域人材政策室／資源エネルギー環境部環境・リサイクル課



様々な経験を通して広い視野を身につける。
—多様化する地域の課題解決に向けて—

現在、所属部署の通常業務とは別に、地域経済産業調査員という立場で一職員として主体的に取組を行っています。地域経済産業調査員は、職員個人の独自の視点からテーマを設定し、調査・政策提案までの一連の取組を通じて経済産業省の地域経済産業政策の企画立案に参画します。私は、これまでの業務経験も活かしながら、北陸地域のエネルギー事業を通して地域活性化を実現するための支援のあり方や新たな政策の提案に向けて取り組んでいます。所属部署の業務の枠を超えて、地域の課題解決につながるエネルギー事業者や地方自治体との連携を模索し、本省や他地域の経済産業局の職員との交流・意見交換により議論を深めるなど、毎日が挑戦の連続です。世の中の課題が多様化していく中、特定の課室の業務にとらわれず様々な経験を通して広い視野を身につけていくことが重要であると考えています。挑戦したい気持ちがあれば、チャンスは沢山あってどんどん成長できますし、時には、自分のライフスタイルに応じて働き方も柔軟に変えられる職場なので、入省してからの可能性は無限大にあると思います。ぜひ一緒に働いてみませんか?

電力・ガス事業北陸支局産業振興室
係長／事務系

桑山 知奈美

[おもなキャリアパス] 電力・ガス事業北陸支局地域経済課／
資源エネルギー庁省エネルギー課／電力・ガス事業北陸支局電力・ガス事業課

One Day of METI

「地域振興・人材政策課」 若手職員の1日

入省3年目、同じ課に配属された若手職員のとある一日の働き方を紹介します。

若手

地域振興・人材政策課
山下 創平
[2020年入省]



若手

地域振興・人材政策課
横山 智也
[2021年入省]



先輩
上司

地域振興・人材政策課
総括係長
柳澤 友也
[2015年入省]



上司

地域振興・人材政策課
課長補佐
竹川 杏奈
[2002年入省]



8:00

9:00

10:00

11:00

12:00

14:00

15:00

16:00

16:45

17:15

18:00

山下さんの場合

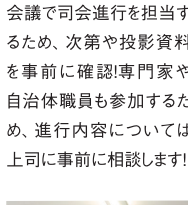


出勤
8:30



朝一番はメールをチェック!
それぞれの内容から優先度
を定め、1日のスケジュール
を組み立てます! 回答や提出
に期限があるものはすぐ
にOutlookのスケジュール
にもメモ!

会議準備



会議で司会進行を担当す
るため、次第や投影資料
を事前に確認! 専門家や
自治体職員も参加するた
め、進行内容については
上司に事前に相談します!

会議



「官民合同企業支援チーム」による会議開始!
専門家や自治体職員など、バックグラウンドが異なるメンバーで
の会議は、とても刺激的です!
若手職員の声が届き上げられることもあるため、積極的に発言
するよう心掛けています。やりがいはある一方、知識不足だと実
感することも多く、日々勉強です!

昼休み

山下さんの
この日のランチ



今日は同僚と、がつつりラ
ンチ! 仕事以外の話も楽
しく盛り上がり、午後に備
えてご飯をおかわり!

デスクワーク

午後はデスクワークです。
午前中の会議の内容を報告できるよう資料を
作成します。報告書のため、要点を簡潔に分
かりやすくまとめることを心がけています。



次の訪問先の企業の方に日程調整の連絡をとり
ます。現場主義の実践は訪問する前の準備・
行動から始まっています! 地域経済の中心的な
担い手となる“地域未来牽引企業”への支援策
や、所管する工場立地法などについて事業者や
自治体から問合せが入ることも。

課内ミーティング

日々の業務の進捗や、課内で共有するべき
事柄を報告します。

担当業務の進め方がわからない場合や、
困っていることがあれば、この場で上司
に相談し、その日のうちに解決できるよう
努めます!



退庁
17:15



幅広い世代でフットサルやテニス、
ボーリングなど、仕事以外にも全力
投球! 上司や同期の違った一面
も見ることができるので、積極的に
参加しています! 休日には、若手職
員でゴルフやバーベキューなどでリ
フレッシュ! 公私ともに充実してい
ます!

横山さんの場合



テレワーク開始
9:00



本日の午前中は、テレワ
ークにて業務を行います。
経済産業省では、多様な
働き方を実現しつつ、災
害や感染症等の非常時
の業務継続を可能とする
ため、テレワーク制度を導
入しています。

事前準備

午後からの企業訪問に向
けて準備します。職場内
のデータベースや分析シ
ステム、企業ホームページな
どで情報収集、分析した
上で、ヒアリングしたい内
容などについてまとめます。

打ち合わせ
[オンライン]

先輩上司である柳澤さん
との企業訪問にあたり、事
前に分析した結果を報告
し、ヒアリング内容につ
いて打ち合わせを行います。
訪問前に自分なりの仮説
を持つことで、限られた時
間でも効果的な支援を実
施できるようにします。



横山さんとの企業訪問に
あたり事前の打合せを行
います。準備に漏れなど
がないか確認し、必要に
応じて資料の準備などを依
頼します。これまでの業務
で培った経験からアドバイ
スなども行います。

横山さんの
この日のランチ



企業訪問を控えているた
め、ランチを大急ぎで掻き
込みます。

柳澤さんの
この日のランチ



ランチを片手にオンライン
でBBL(勉強会)に参加。
自由参加型の勉強会が
様々なテーマで頻繁に開
催されているため、興味
があるものに気軽にふらりと
参加しています。

企業訪問

午前の事前打ち合わせを踏まえて、いざ、企業訪
問! 意見交換や工場見学をさせていただきます。
実際の“現場”を見ることで、企業の強みとしてい
るところを理解するとともに、社長をはじめ経営陣



の方々のお話を聞くことで、企業の本質的な課題
の抽出に努め、支援策やフォローへと繋げます。

企業訪問は事前準備が何よりも重要です!
上司や先輩の仕事のやり方から学びながら、自
分なりのやり方を模索しています。訪問時には、
傾聴と対話を心がけ、企業との信頼関係を築く
ことを大事にしています。
把握した課題・ニーズにあわせて、他の部課
室で担当する施策との連携によりワンストップで
企業支援することもあります。



企業訪問

横山さんとの企業訪問。課題解決に向けては、上司・部下との連携プレーが重要です。
日々の業務経験を通じて成長する若手職員の姿に、自分自身も大きな刺激を受けています。

デスクワーク

午前中の会議を踏まえつつ、今後の業務の進め方や方針を検討、整理します。
地域振興・人材政策課では、地域産業の振興、産業人材育成、産業立地推進など多岐にわた
る業務を担っています。若手職員ならではの目線からのアイデアや意見、行動力は課全体のパ
フォーマンス向上に欠かせません。

柳澤さんの場合



出勤
8:00

時差出勤のため、職員ごとに出勤時間が違います。
8時に出勤し、朝型の勤務をしています。

デスクワーク

竹川さんの場合



出勤
9:00

Outlookのスケジュールを見ながら、課内全体の動きを把握します。
必要に応じて仕事の割り振りを指示したり、バ切りが近い仕事は進
捗状況の報告を求めたりします。

会議

会議の進行、議事内容について山下さんから報告を受けて
最終確認します。必要に応じて修正等を依頼しつつ、問題が
なければ、会議へGOサインを出します!

退庁
17:45



本日も無事に業務終了です。
退庁後は、飲み会に参加すること
もあれば、スポーツ観戦に球場など
に行くこともあります!
筋トレや資格の勉強をするなど自分
磨きみたいなことも!? 休日は趣味
のサイクリングやカメラを楽しむなど
自分の時間も大切にしています。

退庁
16:45

私たちは“地域振興・人材政策課”という
チームで仕事をしています。
チームで仕事をしていく上で、ミーティングの
機会をはじめ、日頃の課員同士による密な
コミュニケーションを心がけています。

退庁 16:45

育児時間制度を利用して、定時
より早く仕事を切り上げお迎えへ。
両立支援制度が充実しているの
でありがたいです。



資源エネルギー環境部
エネルギー対策課 [事務系]

村上 武

私はもともと公安系の業務に興味があり、官庁訪問まで経済産業局について詳しく知りませんでした。そんな私がなぜ入省したか、それは官庁訪問で中部経済産業局に一目惚れをしたからです。やりがい、職員の人柄、ワークライフバランス、ここには全てがあると思います。少しでも中部経済産業局に興味を湧いた方は、業務説明会に足を運び、中部経済産業局で何をしたいのかを具体的に考えてみるのがいいと思います。決して自分の中で妥協せず、自分の中でここだということを選んでください。私は中部経済産業局を推します！



産業部 中小企業課 [事務系]

長屋 翔人

社会人となり数ヶ月、全力で業務に当たっては力を使い果たす日々ですが、とても充実しています。入省して衝撃を受けたことは、職員の皆さんが忙しくもどこか楽しそうに仕事をしているところです。このような職場だからこそ、仕事で力を使い果たしても充実感を得ることができているのだと思っています。官庁訪問では実際に働いている職員の方々と対話ができるので、自分が中部経済産業局で働くイメージを持つことができました。業務説明会やこのパンフレットを見てビビッときた方、是非、中部経済産業局の門を叩いてみてください。



総務企画部 企画調査課 [事務系]

川端 智也

企画調査課において統計業務に携わり、統計に必要な不可欠な数字や指標と日々格闘しています。その分パソコンと見つめ合う時間が長いので、目をこらしながら頑張っています。目を疲れないようにすること、大事です！ 広大な知識を必要とする統計業務ですが、新しい知識や考え方を得ることができるため、刺激的かつ新鮮な気持ちで毎日を過ごしています。就職活動では、自分を大きくも小さくも見せずに等身大の自分を見せることが大切だと思います。大変なことも多いと思いますが、頑張ってください。皆さんを待っています。



学生から社会人になって、早く仕事に慣れなければと焦る気持ちでいっぱいですが、温かく見守ってくださり、わからないことや判断に迷うことがあれば、親身になって教えてくださる方々ばかりなので、周りの方々の助けを借りながら、日々様々な仕事を任せていただけることにやりがいを感じています。事務的な業務はもちろんスケールの大きな業務にも携われることに驚いています。採用されるまでには、説明会に積極的に参加し、実際に働いている職員の方々から直接お話を伺うことで職場の雰囲気や求めている人物像を確認していました。来年皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。コツコツ毎日努力することが大切です！

総務企画部 総務課 [事務系]

井上 朋香

社会人になって、“毎朝早く起きて出勤して一日働いている自分偉いっ！”と思います。働いている職員皆さんの雰囲気明るく、相手を尊重する職場だと感じており、心地よく働くことができます。自分の好き嫌いや得意不得意、心地よさを感じる環境など、自分はどんなことに重きを置いているのか、自らの価値観についてよく知った上で就職活動すると思います。思いがけないご縁もあるので、たった一つに縛られることなく色々な選択肢をもって挑戦してほしいです。

中部近畿産業保安監督部 保安課 [技術系]

後藤 瑠奈



私たちと一緒に「地域の力を未来に繋ぐ」
そんなあなたをお待ちしています。

2023年入省の新規採用職員から
今後の入省をめざす皆さんへのメッセージです。



中部経済産業局は地域の未来のために各職員がキラキラと輝きながら活躍できる職場だと思います。地域のために熱意や誇りを持ってお仕事されている職員皆さんの姿は本当にかっこいいです。社会人になって最初はとても不安でしたが、職員の皆さんが優しく丁寧にサポートしてくださるおかげで徐々に業務にも慣れてきて、憧れの中部経済産業局で採用してもらえて良かったと毎日実感しながら働いています。このパンフレットを見て少しでも気になった方はぜひ一度業務説明会に参加して、実際に活躍されている職員の方のお話を聞いてみてください。

産業部 消費経済課 [事務系]

田中 杏依



産業部 取引適正化推進室 [技術系]

堀 夕真

職員同士のつながり、企業、大学、自治体などのつながり……中部経済産業局に入省して、人とのつながりがとても深い職場だと感じました。私もそのつながりを受け継いでいくべく、人とのつながりを意識しながら業務に当たっています。学生時代はとにかく毎日勢いで生活していました。社会人となり、働くことの大変さを感じる毎日ですが、学生時代の勢いのまま今も仕事に邁進しているところです。就職活動では、自分の熱い思いを率直に職員にぶつけることが一番大切だと感じました。皆さんと一緒に働けることを楽しみに待っています。

明るい！これは私が中部経済産業局で働き始めて最初に抱いた職場の印象です。社会人となり、初めはとても緊張していましたが、周りにはいる職員の皆さんが明るくて気さくな方々ばかりだったので、すぐに職場に慣れることができました。学生の時とは角度の違った責任感のもとで仕事をしているので大変なこともあります、その分やりがいも大きいと感じています。大学時代はパソコンを多く使う研究室で実験を頑張っていたため、現在の仕事でも大いにその経験が活かされています。

総務企画部 会計課 [技術系]

加藤 瑞樹



資源エネルギー環境部
環境・資源循環経済課 [事務系]

野田 博敏

皆さんは社会人になることに対してどう感じていますか？ 私は、毎日出勤するのが楽しみです。最初は社会人になることに対して、肉体的、精神的にナーバスになるのではないかと想像していました。しかし全くそんなことはありませんでした。私がそう思えるのも、局全体の雰囲気が本当に素晴らしい、心地よく働ける環境だからこそだと感じています。業務中の話が壮大で、果たして自分にその仕事ができるのかと考えることもありますが、なんとか先輩職員の皆さんについていこうと日々頑張っています。

産業部 流通・サービス産業課 [事務系]

玉井 龍牙



1 人の中部経済産業局の職員として、上司や先輩の職員から業務において必ず役割や仕事を任せていただけるので、誇らしい気持ちで業務に当たっています。その分業務上の責任を感じつつ、緊張感を持って仕事に当たる必要がありますが、業務とプライベートのメリハリをつけ、必死に頑張っています。そんな毎日が今はとても楽しく、充実していると思います。これを読んでいる皆さんは不安な日々を過ごしていると思いますが、最後まで素直な気持ちで自分を信じて頑張ってください。皆さんを待っています。